

ドイツ語（初級 B） 第 24 回 es の用法：形式主語の es

範囲：教科書第 14 課 B（S. 57-59）

《今回の基本例文》

80. In Österreich gibt es keinen Vulkan. (CD73-1)

オーストリアには火山がない。

[es の用法 (es gibt 構文)]

81. Wie geht es Ihren Kindern? – Ihnen geht es ausgezeichnet. (CD74-3)

お子様がたの調子はいかがですか？ – 最高です。

[es の用法 (es geht 構文)]

82. Es handelt sich um meinen alten Freund. (CD75-1)

これは私の旧友の話である。

[es の用法 (es handelt sich um 構文)]

I es の用法：形式主語の es

B. es の用法（1）：形式上の主語としての es （S. 57）

■ es の用法のまとめ

◇ 中性 1 格および 4 格の人称代名詞 es には、英語の *it* と同様、さまざまな特殊な用法がある。具体的には、

- ・ 自然現象などを言うときに用いる形式主語の es（すでに何度か登場）
- ・ 自動詞の受動に用いる形式主語の es（教科書第 14 課 A）
- ・ 副文や zu 不定詞句（英語の *to* 不定詞に相当するもの）を先取りする形式主語や形式目的語の es（すでに何度か登場、ただし zu 不定詞句は教科書第 16 課で扱う）
- ・ es を主語とした熟語表現（**非人称熟語**）

である。

◇ ここでは、自然現象などを言うときに用いる形式主語の es、および es を主語とした熟語表現（非人称熟語）を扱う（ほかは教科書第 17 課に回す）。

1 自然現象など

◇ **形式主語 es** を立てるのは、

- ・ 天候や気象を言うとき（⇒教科書 S. 21 など）
- ・ 日時を言うとき（⇒教科書 S. 37）
- ・ 「寒い」などの生理的、心理的感覚を言うとき
- ・ 音やにおいなどを言うとき

といった場合である。

◇ **天候や気象**を言うときは、**es** を主語に立てる。使用する表現は、

- ・天候や気象を表す動詞: **regnen** (=rain、雨が降る)、**schneien** (=snow、雪が降る)、**blitzen** (稲妻が光る)、**donnern** (雷が鳴る) など。

Es regnet. / Es regnete. / Gestern hat es geregnet. (教科書 S. 49)

雨が降っている。／雨が降った。／昨日は雨が降った。

* regnen は arbeiten 型、es regnet、regnete (過去基本形)、geregnet (過去分詞) など語調を整える e を要する。

Es schneit.

雪が降っている。

- ・sein / werden + 述語内容語。述語内容語は名詞の場合も形容詞の場合もあり。

Es ist warm. / Es ist kalt

暖かい。／寒い。

Bald wird es Abend. / Bald wird es Sommer.

もうすぐ夕方に／夏になる。

◇ **日時、年月日、時刻**を言うときは、**es** を主語に立てる。(⇒教科書 S. 37、S. 68)

Jetzt ist es 8 Uhr. / Es ist Sonntag.

いま 8 時です。／(今日は) 日曜日です。

◇ **生理的、心理的感覚**を言うときは、**es** を主語に立てる。自動詞の受動(教科書 S. 57) のときと同様、**es** が文頭に来ない場合 **es** は省略され、主語がない文ができる。

* 授業第 22 回でも断った通り、いつでも文頭に来ない **es** は省略できるわけではない。省略できるのは自動詞の受動および生理的・心理的感覚の場合のみ。

- ・es + sein + 〈3 格〉 + 形容詞: 「〈3 格〉は～である」(〈3 格〉が意味上の主語となる)。

Es ist mir übel. = Mir ist es übel.

私は気分が悪い。

Es ist mir kalt. = Mir ist es kalt.

私は寒い。

* Ich bin übel. では「私は悪いやつだ」、Ich bin kalt. では「私の体温が冷たい」になってしまう。

- ・生理的、心理的感覚を表す動詞:

gefallen (vi. 〈3 格〉の気に入る)、**grauen** (vi. 〈3 格〉をぞっとさせる)、

frieren (vt. 〈4 格〉を凍えさせる) など。意味上の主語はそれぞれ 〈3 格〉や 〈4 格〉となる。

* 何度も触れた通り、gefallen は 2 人称・3 人称単数で a → ä と変音する動詞 (du gefällst, es gefällt)。3 基本形も不規則。

** frieren も不規則動詞 (-fror -gefroren)。

Es graut mir. = Mir graut es.

私はぞっとする。

Es friert mich. = Mich friert es.

私は凍えている。

◇ **音やにおい**などを言うときは、es を主語に立てる。

- ・ 音を表す動詞：klopfen（ノック音がする）、klingeln（ベルが鳴る）

* これらは an＋〈3 格〉と用い、それぞれ「〈3 格〉がノックされる」、「〈3 格〉のベルが鳴っている」の意味になる。

Es klopft an der Tür.

ドアを叩く音がする。

Es klingelt.

ベルが鳴る。

- ・ においを表す動詞：riechen（においがする）。

* こちらは nach＋〈3 格〉と用い、「〈3 格〉のにおいがする」の意味になる。

** riechen も不規則動詞（- roch - gerochen）。

Es riecht nach Fisch.

魚のにおいがする。

◇ 以上、初学者にとっては細かい事項が多いので、いまは天候や気象、日時だけ覚えておけばよい。

2 形式主語 es を用いた熟語 (S. 58)

Es gibt 〈4 格〉：「〈4 格〉がある」の意味

◇ いわゆる**非人称熟語**。これ以外にも数多くあるが、取り敢えず教科書にある重要構文 3 つを覚えること。特に重要なのが es gibt 構文。gibt はもちろん geben（〈4 格〉を与える）の 3 人称単数形。

◇ **es gibt 構文**は、

- ・ es gibt＋〈4 格〉で、「〈4 格〉がある」の意味。英語の *there be* 構文に近い。
- ・ 過去形や現在完了などのつくり方については、普通に考えればよい（geben は haben 支配）。

In diesem Dorf gibt es keinen Bahnhof.（現在）

この村には駅がない。

In diesem Dorf gab es keinen Bahnhof.（過去）

In diesem Dorf hat es keinen Bahnhof gegeben.（現在完了）

この村には駅がなかった。

* いずれも副詞句 in diesem Dorf で文をはじめている。もちろん、es ではじめてもよい（下記参照）。

- ・ geben が他動詞なので、必ず 4 格目的語をとり、「〈4 格〉がある」としなければならない。そこが英語の *there be* 構文と異なるので注意。

* *there be* への場合、*there* は副詞、*be* が動詞、～は主語である（英語がドイツ語的な定動詞第 2 位だった時代の名残り）。

There are no stations in this village.

（主語）

Es gibt in diesem Dorf keinen Bahnhof.

（形式主語）

（4 格目的語）

この村には駅がない。

* *there be* 構文で「～がない」と言う場合は複数形を用いることが多いが、ドイツ語の *es gibt* 構文では単数形で可。

◇ **es geht 構文**は、

- ・ es geht + 〈3 格〉で、「〈3 格〉の調子は～である、機嫌は～である」の意味。
- ・ gehen の「(事態が) 運ぶ、うまく行く」という用法が元になっている。

Wie geht es Ihnen? / Wie geht's dir?

お元気ですか? / 元気?

- Danke, es geht mir gut. / - Danke, es geht.

おかげで元気で。 / うん、元気だよ。

* geht's は geht es の短縮形。くだけた表現でよく使う。

** 英語の How are you? にあたる挨拶の表現、定型表現としてそのまま覚えておくとよい。 (⇒授業第 1 回配付資料 S.8)

◇ **es handelt sich um 構文**は、

・ es handelt sich um + 〈4 格〉のかたちで使われる (um は 4 格支配)。最大公約数的な意味は「〈4 格〉の件である、〈4 格〉のことである」だが、「〈4 格〉が重要である」、「問題なのは〈4 格〉である」、「これから話すテーマは〈4 格〉である」など、場合に応じて解釈するとよい。

- ・ handeln は元来、自動詞としては「行動する」、他動詞としては「〈4 格〉を扱う (売買する)」。

Hier handelt es sich um die Zukunft der Menschheit.

これは人類の将来に関することである。

Worum handelt es sich?

なんの話ですか。

* es handelt sich um + 〈4 格〉の〈4 格〉を尋ねる場合、um と was の融合形である worum を用いる。 (⇒教科書 S. 27)

練習

[] 内の語彙を用いてドイツ語作文をせよ。語彙は適切に変化させなければならない場合もある。

1. 昨日は雪が降った。(現在完了) 2. 明日は暑くなるだろう。(未来形) 3. いま何時ですか?
4. いまは〇時×分です。(現在の時刻で答えること)
5. 十分な学生寮がない。

[genug 十分な (無変化) Studentenwohnheim *n.* 学生寮 (複数形 = Studentenwohnheime)]

6. 日本にはたくさんの温泉がある。

[viel たくさんの (形容詞変化) heiße Quelle *f.* 温泉 (複数形 = heiße Quellen)]

7. この近くにスーパーマーケットはありますか?

[hier in der Nähe この近くに Supermarkt *m.* スーパーマーケット]

8. 私たちの街には大学がない。

[Stadt *f.* 街 Universität *f.* 大学]

9. 当時はお金がなかった。(過去) 10. 当時はお金がなかった。(現在完了)

[damals *adv.* 当時は Geld *n.* お金]

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり)：https://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/